

町内の診療所に 新しい医療機器が 導入 されました

地域の医療は、時代状況や制度によって大きな影響を受け、常に変化を求められる環境にあります。本町では、変化する医療ニーズやその高度化・多様化に対応し、安心の治療を受けられる地域医療の充実を目的に、北海道の交付金を活用して施設及び医療機器を整備しました。

特に急速な高齢化が進行する本町では、これまでの設備・機器では対応できない場面が増えつつあり、これからもこうした福祉体制の充実に力を注いでいきます。

ここでは各診療所の整備状況をお知らせします。

なお、上ノ国・石崎診療所の医療機器については、南檜山地域医療連携システムに対応しております。

上ノ国診療所

《導入された医療機器》

- オゾン水内視鏡殺菌機
使用した胃カメラの殺菌精度及び洗浄速度の向上
- バイタルステーション
入院患者の状態を、常時ナースステーションで把握
- 診療用電動ベッド 2台
ペダル操作で昇降が可能
- 医療用電動ベッド 19台
モーター操作で昇降が可能
- 分包機
薬剤の梱包作業の効率性が上昇



オゾン水内視鏡殺菌機



バイタルセンサー



バイタルステーション



診療用電動ベッド



医療用電動ベッド



分包機

またオゾン水内視鏡殺菌機は、胃カメラ等の洗浄・殺菌の速さと精度を向上させたもので、1日に行える検査回数が増え、必要な方には迅速に検査を行う事が出来ます。こうしたことから、受診される方、入院される方ともに全体的な負担の軽減がなされたと感じています。

皆さんが目にする機会が多い診察台は、昇降ペダルで高さの調整が可能となり、お年寄りや膝の悪い方でも簡単に横になることができるようになりました。バイタルモニターについては、特に注意が必要な入院患者さんの心拍数・血圧・呼吸等をナースステーションで把握することが可能となり、夜勤時は心強い機器です。

この度、上ノ国診療所では新たな医療機器類の導入が行われました。



経田 剛
先生

